

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンライフ下曽根駅南	階数	地上14F
建設地	福岡県北九州市小倉南区中曽根一	構造	RC造
用途地域	第1種中高層専用地域	平均居住人員	228 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年5月 予定	評価の実施日	
敷地面積	2,690 m ²	作成者	河野設計 石川
建築面積	847 m ²	確認日	
延床面積	5,548 m ²	確認者	河野設計 石川



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: A: B+: B: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値	100%
建築物の取組み	92%
上記+ 以外のオンサイト手法	92%
上記+ オフサイト手法	92%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	3.1
温熱環境	2.7
光・視環境	3.4
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

機能性	3.9
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

建物の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	4.8
効率的運用	N.A.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	3.8
汚染物質回避	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

地球温暖化への配慮	3.3
地域環境への配慮	2.4
周辺環境への配慮	2.1

3 設計上の配慮事項		
総合	環境に配慮し、オール電化・節水機器の採用により環境負荷を軽減している。また、落ち着いた配色・敷地周囲を緑化することで周辺環境への配慮を行っている。	その他 0
Q1 室内環境	建具の配置・仕様により風通しのよい計画にしている。	Q3 室外環境(敷地内) 隣地の住宅が隣接する場所については目隠しフェンスを設けるなど居住者・近隣住民のプライバシーの確保に配慮している。
LR1 エネルギー	有効な採光・風通が確保されている。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車・駐輪スペースの確保。
Q2 サービス性能	天井高さを2.3m以上確保。	
LR2 資源・マテリアル	持続可能な森林材を活用。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい